

平成22年6月4日招集

平成22年
第2回壱岐市議会定例会

行政報告

壱岐市

目 次

はじめに	1
(1) 地域情報通信基盤整備推進事業について	3
交流人口・定住人口の拡大	
(1) 観光振興について	4
(2) 各種イベントについて	5
市民・福祉	
(1) 子ども手当について	7
(2) 市税等の収入状況について	8
第一次産業の振興	
(1) 農業振興について	9
(2) 水産振興について	10
環境保全	
(1) 一般廃棄物処理施設整備について	11
教育	
(1) 中学校規模適正化について	12
医療	
(1) 吉崎市民病院について	13
(2) かたばる病院について	14
(3) 市立病院改革について	14
消防・救急	15
議案説明	
(1) 補正予算について	16
(2) その他の議案について	16
おわりに	16

行政報告

平成22年第2回 壱岐市議会定例会

はじめに

本日ここに、平成22年第2回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員皆様には、ご健勝にてご出席を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、宮崎県で発生しております口蹄疫につきましては、依然、終息が見えない状況にあり、深刻な事態に陥っております。この問題は、宮崎県だけではなく、九州各県においても深刻な影響を受けており、本市においても例外ではなく、6月定期子牛・成牛セリ市の開設延期、6月6日開催を予定していた壱岐サイクルフェスティバルの中止等、本市経済に対する影響は極めて大きなものがあり、大変憂慮いたしております。この件につきましては、後ほど、経過等ご説明いたしますが、今後も関係機関と連携を密にして水際対策の徹底に努めてまいります。

次に一支国博物館について、3月14日オープン以来、来館者も順調に推移し、5月末日現在で44,496人と予想を上回る皆様にご来館いただいております。

これは、一支国博物館オープンを契機に、NHK長崎による5日連続の壱岐特集の放送をはじめ多くのマスコミにも取り上げられたことや、各方面の壱岐人会をはじめ、多くの団体において、ふ

るさとツアー等企画していただき、ご来館いただくなど多大なご支援による相乗効果であり、ここに改めて感謝申し上げる次第であります。

今後も、「一支国博物館・長崎県埋蔵文化財センター」並びに「古代史ぎっしり壱岐」の継続的PRに努め、市民皆様をはじめ多くの皆様にご来館いただけるよう、指定管理者とも協議を重ねながら、内容の充実に努めてまいりますので、今後ともご協力賜りますようお願いいたします。

なお、今年度も昨年度に引き続き、6月1日から地球にやさしいライフスタイルの確立を図るため、ノーネクタイ等で業務を行うクールビズ期間中に、職員については貫頭衣の着用による一支国博物館のPRをいたしておりまして、議員皆様にも、本日から早速、着用いただき、厚く御礼申し上げます。

市民皆様には、職員の貫頭衣での窓口対応等について、主旨をご理解いただきますようお願いいたします。

次に平成22年春の叙勲受賞者が発表され、本市からは、永年、農業委員会委員、また同会長職を務められ、農業振興発展に貢献されたくらもつよひろ倉元強弘様が旭日単光章を、また公立高校校長として、学校教育の充実発展に貢献されたやまにし山西みのる實様が瑞宝小綬章を、消防防災に貢献された元勝本町消防団副団長ふくだまさおみ福田征臣様が瑞宝単光章を夫々受賞されました。

また高齢者叙勲として小学校校長を務められましたやまむら山村ゆたか饒様が瑞宝双光章を、同じく元芦辺町議会議員で、現在も壱岐市老人ク

ラブ会長としてご活躍の山本^{やまもとよしと}義人様が旭日単光章を夫々受賞されました。

さらに危険業務従事者叙勲の警察功労として永年、長崎県警察官として治安維持に貢献されました山内^{やまうちまおみ}眞臣様が瑞宝双光章を受賞されました。

今日まで築かれたご功績等に対し、深甚なる敬意を表しますとともに、この度の栄誉を心からお慶び申し上げます。

それでは前定例会以降、今日までの市政の重要事項につきましてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

(1) 地域情報通信基盤整備推進事業

平成 2 1 年度から取り組んでおります地域情報通信基盤整備推進事業につきましては、平成 2 3 年 4 月の放送・通信のサービス開始に向け、事業周知と加入推進のための住民説明会を、5 月末現在で 1 8 2 回開催いたしております。

工事等の発注状況であります。現在、三島地区への海底光ケーブル敷設工事の入札・契約を終え、6 月中旬には、伝送路・センター設備工事、建築工事、電気工事及び設備工事等の入札を行う予定でありまして、本定例会の会期中に、契約の議決をいただきたく、追加議案としてご提案したく考えております。なお、この契約により、すべての工事の発注が完了する予定であります。

また、施設等の維持管理・運営を行う指定管理者を 5 月 1 0 日か

ら6月7日まで募集をしておりますが、既に数社からの問い合わせがっております。

今後、具体的な工事内容、サービス内容を決定し、これについて、市民皆様に分かりやすい内容で周知いたしますとともにケーブルテレビ加入の推進に努めてまいります。

何分、短い工事期間で、市内全世帯・全事業所を対象に工事を行う必要がございますので、市民皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

交流人口・定住人口の拡大

(1) 観光振興について

平成21年の観光客延べ数(平成21年観光客数調査より)につきましては、554,098人、対前年比6%減という非常に厳しい状況でありました。

そのような中、市内の主要観光地でありますイルカパークにおきましては、平成21年度実績で入園者数33,954人、対前年度比16.7%増と非常に好調に推移しております。これは報道機関各位のご協力とイルカショーを再開したこと等による結果であると認識しております。

次に、教育旅行の誘致につきましては、今年度は現時点で46校・約5,300人(体験学習を実施する学校を含む)の生徒が本市を訪れる予定でございます。昨年より若干少ない数となっておりますが、少子高齢化が進む中で、景気低迷の影響も受けた教育旅行予算

の減少傾向の中では、健闘している状況であると認識いたしております。

一方、唐津市・玄海町・壱岐市・糸島市・福岡市の4市1町の圏域で構成する「玄界灘観光圏」の整備実施計画が、国土交通大臣の認定を受けました。これは観光庁が目指す「観光立国」の実現に向けて、複数の観光地が連携して2泊3日以上滞在型観光の確立を推進するものです。本市としましては、実施主体となります壱岐市観光協会をはじめとした各観光関係団体と連携・協力のもと、滞在型観光をめざす「観光圏」の形成を促進してまいります。

今後とも「一支国博物館・長崎県埋蔵文化財センター」のオープンを契機といたしまして、壱岐にしかない貴重な歴史資産と豊かな自然景観を活かした観光振興に努め、さらなる交流人口の拡大と壱岐の活性化に繋げてまいりたい所存であります。

(2) 各種イベントについて

冒頭申し上げましたが、6月6日に開催予定でありました壱岐サイクルフェスティバルについては、口蹄疫を壱岐島内に持ち込ませないという観点から、大変残念でありましたが、5月28日に今年度の大会の中止を決定いたしました。今回は585人の選手の皆様からお申し込みをいただいております。今回の中止により、本市の経済的損失も大きく、断腸の思いでありましたが、早期の終息宣言が望めないこと、またコース付近にも牛舎があること等を考慮し、実行委員会、関係機関・団体とも十分協議を行うとともに、議員各

位のご意見もお伺いし、判断したところであります。本大会は22回を数える重要イベントであり、今後も末永く継続させなければなりません。こうしたことから今回の中止に伴う対応については、実行委員会を中心に誠心誠意努めてまいりますとともに、次回大会への参加についても積極的にお願いしてまいります。

次に、来る7月7日には壱岐市で「よしもと新喜劇」が開催される予定であります。これは、「壱岐によしもと新喜劇を呼ぶ会」が主催となって開催されるものでありますが、壱岐の情報発信効果という公益性も強く、市民皆様に笑いで元気にするイベントであること等を考慮し、後援をしたところであります。入場券も順調に販売されているとお聞きしております。

次に、本年5月3日に、姉妹都市長野県諏訪市で開催された7年に一度の天下の大祭、御柱祭へ参加してまいりました。厳粛かつ勇壮で、諏訪市民皆様の、この祭りにかける熱い思い等肌で感じてきたところであります。そしてこの度、3回目となる壱岐市御柱祭が、壱岐御柱祭実行委員会主催により、7月10日(土)に諏訪市並びに諏訪市有志皆様のご支援、ご協力により開催される予定となっております。

市といたしましても、姉妹都市とのさらなる交流の促進と地域活性化のため、後援を行ってまいります。

次に「開運！なんでも鑑定団」の「出張！なんでも鑑定団 in 壱岐」が開催されることとなりました。これは「一支国博物館」のオープンを記念し、島内の貴重な歴史遺産、豊かな自然景観、新鮮豊富な

農水産物等の壱岐の魅力（お宝）を島内外に発信し、交流人口の拡大に繋げていくことを目的として行うものであります。10月17日の収録に向けて、現在、鑑定出場者及び観覧者を募集しております。

こうしたイベント等は、本市への経済効果が多大なものであると同時に、市民参加型のイベント等の開催は、本市の活力を生むものであり、今後もこうしたイベント等の誘致、集客に、積極的に取り組んでまいります。

なお、現在、宮崎県で発生している口蹄疫、また昨年流行いたしました新型インフルエンザ等、近年は、不測の事態によりイベント開催の中止また開催が危ぶまれる事案が発生しておりまして、今後こうした動向には、十分注意しながら取り組んでまいりたいと存じます。

市民・福祉

（１）子ども手当について

本年度から実施される「子ども手当」につきましては、中学校修了までの子ども1人当たり月額、本年度は、半額の13,000円を支給することとなっており、これまで鋭意準備を進めてまいりました。平成22年度における本市の対象者数は、約4,600人で総支給予定額は約5億9,800万円となっております。なお支給開始日については、6月15日を予定しております。市民皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

(2) 市税等の収入状況について

平成21年度の市税の収入状況は、

現年度分調定額 22億4,269万円

に対し、収入額 21億9,474万円

で、収納率は97.86%(前年度97.68%)

対前年度比プラス0.18ポイントとなっております。

滞納繰越分調定額 2億9,864万円

に対し、収入額 2,385万円

で、収納率は7.99%(前年度9.22%)

対前年度比マイナス1.23ポイントとなっております。

国民健康保険税は、

現年度分調定額 8億7,318万円

に対し、収入額 8億2,196万円

で、収納率は94.13%(前年度94.29%)

対前年度比マイナス0.16ポイントとなっております。

滞納繰越分調定額 3億2,925万円

に対し、収入額 3,122万円

で、収納率は9.48%(前年度8.84%)

対前年度比プラス0.64ポイントとなっております。

以上が平成21年度決算収入額であります。

県内の景気の動向は、雇用不安等厳しい状況が続くものの「龍馬ブーム」による観光の好調などから景気は「持ち直している」とされておりますが、離島においては例外であり、本市においても基幹

産業である第一次産業の低迷等、依然と厳しい状況にあります。

しかしながら、市民皆様の納税に対するご理解とご協力によりまして、市税の現年度分と国民健康保険税の滞納繰越分につきましては、前年を若干ではありますが上回ることができました。

また、「長崎県地方税回収機構」により、県税務職員との連携を深めながら、搜索・差し押さえ等の滞納処分の強化を図り、地元での「動産公売会」やインターネット公売の取り組みを実施してきたところであります。

地元での公売会は年2回開催し、105品目、40万3千円、さらに、インターネット公売では、83%の高い売却率で118品目、33万3千円を税に充当したところであります。

今後とも、貴重な自主財源である市税の確保と効率的な滞納整理を行い滞納額の縮減に努めるとともに、公平・公正な税政の実現に向けて、より一層努力をいたす所存であります。

第一次産業の振興

(1) 農業振興について

口蹄疫については、去る4月20日、宮崎県で1例目の疑似患畜が確認されてから、45日が経過したところであります。5月末現在の患畜は、牛30,002頭、山羊8頭、羊8頭、豚133,474頭、合計163,492頭となっております。先の臨時議会以降の口蹄疫に関する経過としましては、5月17日内閣総理大臣を本部長とする政府対策本部が設置され、これ以上の口蹄疫の感染拡

大を阻止するため、我が国では経験したことのない移動制限区域内における殺処分を前提としたワクチン接種による感染拡大防止に踏み切りました。本県においては、5月18日、知事を本部長とした長崎県口蹄疫警戒連絡会議が設置されたところであり、壱岐地区においては5月26日、関係機関・団体で構成する壱岐地区口蹄疫警戒連絡会議が設置され、本市においても、5月28日に、私を会長として、関係部署で組織する、壱岐市口蹄疫警戒連絡会議を設置し、市の危機管理体制の確立や市民皆様への情報提供、市としての侵入予防対策の徹底等今後の防疫措置等について協議を行いました。

万一、口蹄疫が侵入しますと市経済の根幹を揺るがす、極めて危機的な状況に陥ることが必至であります。今後とも関係機関と十分連携し、状況に応じた最大限の対策を講じてまいります。

また、本議会におきまして、防疫対策に係る消毒器具等および畜産農家の経済的損失対策に関連する予算を計上し、提案しておりますので、ご審議賜りますようお願い申し上げます。

(2) 水産振興について

郷ノ浦港ターミナルの駐車場の件につきましては、先の定例会において長期駐車の実施及び市民皆様の送り迎え等の協力が得られるならば駐車場の確保が出来、駐車場の有料化をしないですむと判断したところであります。

そこで、これらの判断を検証する意味も含め、去る4月28日から5月10日までのゴールデンウィークを含めた13日間の駐車状

況を調査いたしました。その結果、延べ3,097台の駐車があり、この期間は、平均で約67%の駐車率でありました。特に高い駐車率であったのが5月3日の約95%・339台、次が5月2日の約92%・328台であり、他の日は全て80%以下でありました。

以上のことから、市民皆様のご協力をいただきながら、今後ともスムーズな駐車場の利用が出来るものと改めて確信を得たところがあります。

次に、平成19年度から大島漁港の珊瑚地区に建設した「壱岐栽培センター」は、昨年3月に栽培センター本体工、本年3月に海面採苗用筏を安全に設置できるための消波堤が完成し、これをもって全ての整備が完了したところがあります。

本施設では、昨年秋から、アワビ、アカウニ、カサゴの種苗が順調に育ち、本施設生産第1号のカサゴをこの度、出荷する運びとなりました。

現段階ではカサゴ、アカウニについては計画どおり、ほぼ順調に生産され、今後それぞれに出荷する計画であります。アワビにつきましても現段階では順調であります。出荷まで約1年あり、このまま大きな状況の変化もなく成育し、放流されることによって、沿岸域での漁獲の増収に繋がればと願うところであります。

環境保全

(1) 一般廃棄物処理施設整備について

一般廃棄物処理施設整備事業の実施状況であります。汚泥再生

処理センター建設工事は、実施設計を終え、現在、建築確認許可を待っている段階であります。県の建築確認許可が下りますと、さらに一般廃棄物処理施設設置届出が義務付けられております。6月末頃には、県の許可がなされると考えておりますので、工事の着手を7月初旬に予定しているところであります。

一般廃棄物最終処分場建設工事は、県知事へ一般廃棄物最終処分場の設置届出申請中であり、施設設置の許可が下り次第、今年度末の完成に向け工事に着手する予定であります。

ごみ処理施設建設工事につきましては、今後、基本設計、実施設計の協議を重ね、建築確認申請等の各許認可の申請を経て12月頃には現地着工の予定としております。

教育

(1) 中学校規模適正化について

壱岐市中学校規模適正化〔統廃合〕計画の推進につきましては、各町ごとの準備委員会及び各専門部会を計画的に開催し、具体的な準備作業を進めております。これまで、新しい学校についての校名の募集、生徒会や部活動についての検討、スクールバスのルートの検討、PTA規約の検討、物品等の移動の検討等を行っていただいております。

今後、さらに準備委員会、各専門部会を繰り返しながら、準備内容等の進捗を計画的に図り、生徒が平成23年4月から、新しい中学校に安心して意欲や希望をもって通うことができるよう、今後も

取り組んでまいります。

医療

(1) 壱岐市民病院について

診療体制について

4月からの診療体制は、昨年4月と同じく13名の常勤医師の体制になっております。(内科4名、外科2名、精神科2名、整形外科2名、小児科1名、産婦人科1名、眼科1名の13名体制)

今年度も医療法上必要とする医師の数(22年度必要数17.725人)を非常勤医師によって補充する厳しい状況に変わりはなく、引き続き、医師の確保に努力してまいります。

運営状況について

平成21年度の壱岐市民病院事業会計決算につきましては、現在作成中ではありますが、約1億8,000万円の赤字決算になる見込みとなっております。

患者数実績については、入院患者数は一般病棟が1日平均95.6人で病床利用率79.6%、精神病棟が1日平均39.5人で病床利用率56.4%でした。また、外来患者数は1日平均374.6人でした。

医業収益が前年比5.8%増の19億9,400万円、医業費用が前年比3.6%増の23億6,900万円を見込んでおります。

(2) かたばる病院について

診療体制について

診療体制としましては、内科医長が3月31日に退職され、現在、常勤医師1名体制であり、非常勤医師として外来診療援助の医師2名と週末当直の非常勤医師4名を長崎医療センター並びに民間の医師斡旋会社の協力により実施しておりますが、常勤医師1名の確保が早急に必要ことから、民間の医師斡旋会社等へお願いしているところであります。

運営状況について

平成21年度のかたばる病院事業会計決算としましては、現在作成中ではありますが、患者数実績としましては、入院患者が1日平均47.2人で当初計画の46.5人に対して0.7人の増で病床利用率は98.3%とほぼ満床状態でありました。

また外来患者は1日平均37.4人と健診が5.6人の合計で43.0人と当初計画の31.8人に対して11.2人の増となっております。

(3) 市立病院改革について

病院改革につきましては、新たな構築を図るため、医師の招聘と、その重責を受け持っていただける理事長候補者のご紹介を、九州大学病院へ頻繁に出向きお願いしているところであります。

これら、ご紹介をいただくためには、九州大学第2外科医局との

関係修復が必須の課題と認識しており、**壱岐市**の現在の医療環境を繰り返し説明し、ご理解をいただけるよう鋭意努めております。

このように面談を重ねてきた結果、同大学の紹介で現在、**田川市立病院事業管理者**であられる^{さいとうたか お}齋藤貴生先生を非常勤特別職の病院事業「顧問」とし、ご協力をお願いすることができました。

5月12日に面談いたしまして、今後の病院経営について先生の助言をお願いしたところであります。

今後も関係大学・壱岐医師会のご協力、ご指導をいただきながら取り組んでまいります。

消防・救急

本年1月から5月31日までの災害発生状況は、火災発生件数14件、救急出場件数678件となっており、昨年同期と比較しますと、火災が5件の減、救急が70件の増となっております。

現在、壱岐市消防団では各地区におきまして消防ポンプ操法大会を開催しております。来る6月27日には、各地区で選抜された精鋭のチームが集い、壱岐市消防ポンプ操法大会を開催いたします。各チームとも優勝を目指して日夜厳しい訓練に励んでいただいております。選手をはじめ消防団はもとより家族や職場のご理解、ご協力に対し、深甚なる感謝を申し上げます。

また、これから梅雨時期に入ることに鑑み、大雨による被害の発生に十分注意するとともに、災害対策に万全を期してまいります。

次に、議案関係についてご説明いたします。

(1) 補正予算について

本議会に提出いたしております補正予算の概要といたしましては、

一般会計補正総額 2億937万6千円

各特別会計補正総額 1,341万円

となり、本定例会に提出いたしました補正額の合計は、

2億2,278万6千円

となります。尚、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は

229億6,437万6千円

で、特別会計につきましては 96億9,681万9千円

となります。

(2) その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、報告3件、予算案件4件、その他2件でございます。詳しくは担当理事、課長から説明をさせていただきますが、何卒十分にご審議をいただき、適正なるご判断を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに

以上をもちまして、前定例会以降の市政の重要事項につきまして申し述べましたが、様々な行政課題また緊急に対応しなければならない問題等に対し誠心誠意、全力で取り組んでまいり所存でございますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご支援を賜りますよ

うお願い申し上げます。

平成22年6月4日

壱岐市長 白川博一